

## 第4学年国語科学習指導案

日 時 平成18年11月2日(木) 授業I  
児 童 4年1組 男子14名 女子19名 合計33名  
場 所 4年1組 教室  
指導者 菊池 睦美

- 1 単元名 人物の気持ちの動きを(光村図書 4年下)  
教材名 「ごんぎつね」

2 単元について

(1) 教材について

教材「ごんぎつね」は、いたずら好きでひとりぼっちの小ぎつねごんが、兵十に償いをするが、なかなか通じ合えず、死という極限においてようやく心が交流しあえたという哀愁に満ちた悲しい物語である。中学年も後半になると、かなり抽象的な思考ができるようになってくる。愛情とか友情などの言葉を好んだり、物語の読みにおいても、筋を追うだけでなく、人物の行動の奥にある心情や作者の描こうとしたねらいに近づこうとするようになる。悲しさや優しさを主題にしたものでは、特に強い共鳴や共感を受けるようである。したがって、このような子供たちに、小ぎつねのごんと人間である兵十との悲しい心の交流を主題とする本教材は最適であり、容易に物語の中に溶け込めるものとする。

(2) 児童について

児童は、これまでに「白いぼうし」や「一つの花」で、場面を比べて様子や気持ちを読み取る学習をしてきた。これらの学習を通して、児童は文や言葉に着目しながら、登場人物の様子や気持ちを読み取ろうとする態度が育ってきている。

毎時間視写文を基に読み取りを行っているため、児童は書くことに抵抗なく取り組めるようになってきている。また、ほとんどの児童は視写文の中で、主述の関係を捉えることができるようになってきている。さらに、視写した文を分けて、意味ごとのまとまりを理解する力もついてきている。しかし、話し合いの場面では、自分の考えたことについて自信がもてないためか、考えはあっても発表までに至らない児童が多い。このことから、分かり易い発問や補助発問を吟味することで児童に自分の考えを多く出させたい。そして、友達と自分との考えの違いにも気付いたりできるようにしたい。

(3) 指導にあたって

第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」ことである。関連する内容として、「ア いろいろな読み物に興味をもち、読むこと」「ウ 場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むこと」「エ 読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」「カ 書かれている内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読むこと」がある。

そこで本教材では、この目標に少しでも近づくために、毎時間ごとに中心となる部分の視写を取り入れ、叙述を基にごんと兵十の気持ちを読み取っていく。視写後の一人学びも明確な視点を与えて児童の支援としていきたい。また、視写文を読み深める際には、主述、修飾・被修飾の関係にも注意しながら進めていきたい。

読書との関連については、「ごんぎつね」の学習をきっかけにもっと読書に興味をもち、読書の幅も広げてほしい。そこで読書タイムなどを利用し、新美南吉著書を読み聞かせることも行いたい。そして児童が図書室に足を運ぶきっかけとなるよう支援したい。

3 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

- ・ いろいろな読み物に興味をもち、読むことができる。(読ア)

(2) 読むこと

- ・ 叙述をもとに、場面ごとにごんの気持ちの変化を読み取ることができる。(読ウ)

(3) 書くこと

- ・ 書こうとする事の中心を明確にして感想を書くことができる。(書エ)

(4) 話す・聞く

- ・ 互いの考えの相違点や共通点を考えながら、話し合うことができる。(話・聞く)

(5) 言語事項

- ・ 修飾と被修飾との関係など、文の構成について理解することができる。(言オ(ア))

4 指導計画(11時間扱い)

段階	時間	ねらい	学習活動	具体的評価規準
つかむ	1	・全文を読み、これからの学習に関心を持つ。 ・新出漢字を確認する。	・全文を通読し、簡単な感想を持つ。 ・新出漢字を確認する。 ・教師の新美南吉の本紹介を聞く。 (参考図書) 『てぶくろを買いに』 『うた時計と狐』	(関)学習に意欲をもち、全文を読んで簡単な感想を書くことができる。 (関)新美南吉の本に興味をもつことができる。
	2 本時	・全文を読んで、あらすじをつかむ。	・全文を通読し、ごんのいる場所に注目しながら、場面分けするなどして、文章全体を大まかに捉える。	(読)ごんのいる場所に注目しながら、文章全体を大まかに捉えることができる。
	3	・全文を読んで、学習の見通しを持つ。	・全文を通読し、学習計画を立てる。	(関)学習計画について意欲的に考えようとしている。
たしかめる	4	・いたづらをするごんの様子や気持ちを読み取る。	・いたづらをするごんの様子が変わるところを視写し、言葉に着目しながらごんの気持ちを読み取る。	(読)いたづらをするごんの様子を視写し、言葉に着目しながらごんの気持ちを読み取ることができる。
	5	・兵十のおっかあの死を知り、後悔するごんの気持ちを読み取る。	・兵十のおっかあの死を知り、後悔するごんの様子が変わるところを視写し、言葉に着目しながらごんの気持ちを読み取る。	(読)兵十のおっかあの死を知り、後悔するごんの様子を視写し、言葉に着目しながらごんの気持ちを読み取ることができる。
	6	・つぐないをするごんの様子や気持ちを読み取る。	・兵十に対してつぐないをするごんの様子が変わるところを視写し、言葉に着目しながらごんの気持ちを読み取る。	(読)兵十に対してつぐないをするごんの様子を視写し、言葉に着目しながらごんの気持ちを読み取ることができる。
	7	・兵十と加助の話を聞いて、もどかしさを感じるごんの気持ちを読み取る。	・兵十と加助の話を聞いたときのごんの気持ちが変わるところを視写し、言葉に着目しながらごんの気持ちを読み取る。	(読)兵十と加助の話を聞いたときのごんの気持ちが変わるところを視写し、言葉に着目しながらごんの気持ちを読み取ることができる。
	8	・ぐったりと目をつぶったままうなずいたときのごんの気持ちを読み取る。	・ぐったりと目をつぶったままうなずいたごんの様子を視写し、ごんの気持ちを読み取る。	(読)ぐったりと目をつぶったままうなずいたごんの様子を視写し、ごんの気持ちについて読み取ることができる。
まとめる	9	・文章全体を読み返し、まとめの感想を書く。 ・読後の感想を発表しあう。	・文章全体を読み返し、読み取ったことをもとにまとめの感想を書く。 ・感想を発表しあう。	(書)文章全体について、読み取ったことをもとに感想を書くことができる。 (話・聞)友だちと自分の考えの違いや共通点を考えながら話し合うことができる。

ひろげる	10	・発展読書をする。	・新美南吉の本を読む。	(書)読んだ本について感想を書くことができる。 (話・聞)友だちと自分の考えの違いや共通点を考えながら話し合うことができる。
	11	・読んだ本について感想を書き、友達と感想を交流し合う。	・読んだ本について短い感想を書き、友達と感想を交流し合う。	

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

- ・全文を読んで、ごんのいる場所を手がかりにあらすじをつかむことができる。

### (2) 展開

段階	学習内容・教師の働きかけ	期待する児童の反応	留意点・評価
つかむ 3分	<p>1 基本的事項の確認</p> <p>○今学習しているのは何という物語ですか。</p> <p>○きつねの名前は何かといいますか。</p> <p>2 学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>お話を読んであらすじをつかもう。</p> <p>●読みの視点の確認</p> <p>・ごんがどこにいるか見つけながら読みましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごんぎつね」</li> <li>・ごん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中させるため、ノートに筆記用具をはさませ、教科書だけ開かせる。</li> <li>・ノートを開き、題名と課題を書かせる。</li> </ul>
たしかめる 39分	<p>3 課題解決への取り組み</p> <p>(1) 学習場面の音読</p> <p>・読む人は大きな声ではっきり読みましょう。</p> <p>(2) 学習場面の読み進め</p> <p>○ごんはいつもどこに住んでいるのでしょうか。</p> <p>・どんなきつねだと書いてありますか。</p> <p>○1の場面で、ごんは他にどこにいますか。</p> <p>○2の場面で、ごんはどこにいますか。</p> <p>(3) 視写(抜書き)</p> <p>○3の場面からは自分の力でさがしていきましょう。早く書き終わった人は、一人学びをしてください。</p> <p>・一人学び (作業の進んでいる児童のための手立て)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>① 視写文を目で読み返す。(間違いがないか)</p> <p>② 分からない言葉を○で囲む。</p> <p>③ その場所でどんなことをしたのかを短く書く。</p> </div> <p>(4) 学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板を目で読む。</li> <li>・声に出して読む。</li> <li>・わからない言葉の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順番読み</li> <li>・山の中</li> <li>・しだのいっばいしげった森の中のあな</li> <li>・いたずらばかりした</li> <li>・小川のつつみ</li> <li>・村の墓地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・突っかかる児童には言い直させたりするなど正しく読むよう支援する。</li> <li>・挿絵も手がかりにしながら考えさせる。</li> <li>・1、2の場面のみ、一緒に考え、一人学びの方法をつかませる。</li> <li>・複数の場所が出てくる場合は、その場面で一番多く出てきている場所を書くようにさせる。迷った場合は、2つ書いても良いことを伝える。</li> <li>・《評価》ノートにごんのいる場所を書き出しているか。</li> <li>・ある程度時間がたったら板書し、支援を要する児童の手だてとする。</li> <li>・学び合いに集中させるため、視写が途中でやめさせ、黒板に目を向けさせる。</li> </ul>

	<p>○ごんが同じ所にいる場面はどことどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3ではどんなことをしましたか。</li> <li>・6ではどんなことをしましたか。</li> </ul> <p>○3と6の場面で、ごんは同じ様子ですか。</p> <p>○1～6の場面を、ごんの気持ちが変わったところで二つに分けるとどこで別れるでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3と6</li> <li>・くりや松たけを持っていった。</li> <li>・くりを持っていった。</li> <li>・6でうたれてしまった。</li> <li>・2と3の間で分かれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の山場となる場面の様子を捉えさせる。</li> <li>・《評価》ごんのしたことや様子を積極的に発表しているか。</li> <li>・ごんの行動が変わるきっかけとなった気持ちの変化を捉えさせる。</li> </ul>
<p>まとめ</p> <p>3分</p>	<p>4 学習のまとめ</p> <p>○まとめの音読をしましょう。(板書の読み)</p> <p>5 次の学習内容確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間は、読み取ったことをもとに学習課題を作っていくことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんがどんなことをしたかも思い起こさせながら読ませる。</li> </ul>

(3) 具体的評価規準と支援の手だて

(ノート・学び合いでの発言)

	A	B	支援の手だて
<p>ごんの行った場所に着目しながら、文章全体を大まかに捉えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんのいる場所を見つけてノートに書き出すことができる。</li> <li>・ごんのしたことや、様子を積極的に発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんのいる場所を見つけてノートに書き出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんのいる場所が書いてある部分を一緒にさがしたり、指を指したりしながら見つけさせる。</li> <li>・板書を見ながら視写させる。</li> </ul>

(4) 板書計画

<p>③②① 一人学びの手引き 視写文を目で読み返す。(間違いがないか)分らない言葉を○で囲む。その場所でのんことをしたのかを短く書く。</p>	挿絵	挿絵		挿絵	挿絵	挿絵	<p>お話を読んであらすじをつかもう。</p> <p>ごんぎつね</p>
	⑥	5	4	③	2	1	
	<p>兵十のうち</p> <p>くり 持っていく</p>	<p>いどのそば</p>	<p>道のかた側</p>	<p>兵十のうち</p> <p>くり、松たけ 持っていく</p>	<p>墓地</p>	<p>小川のつつみ</p> <p>いたずら</p>	